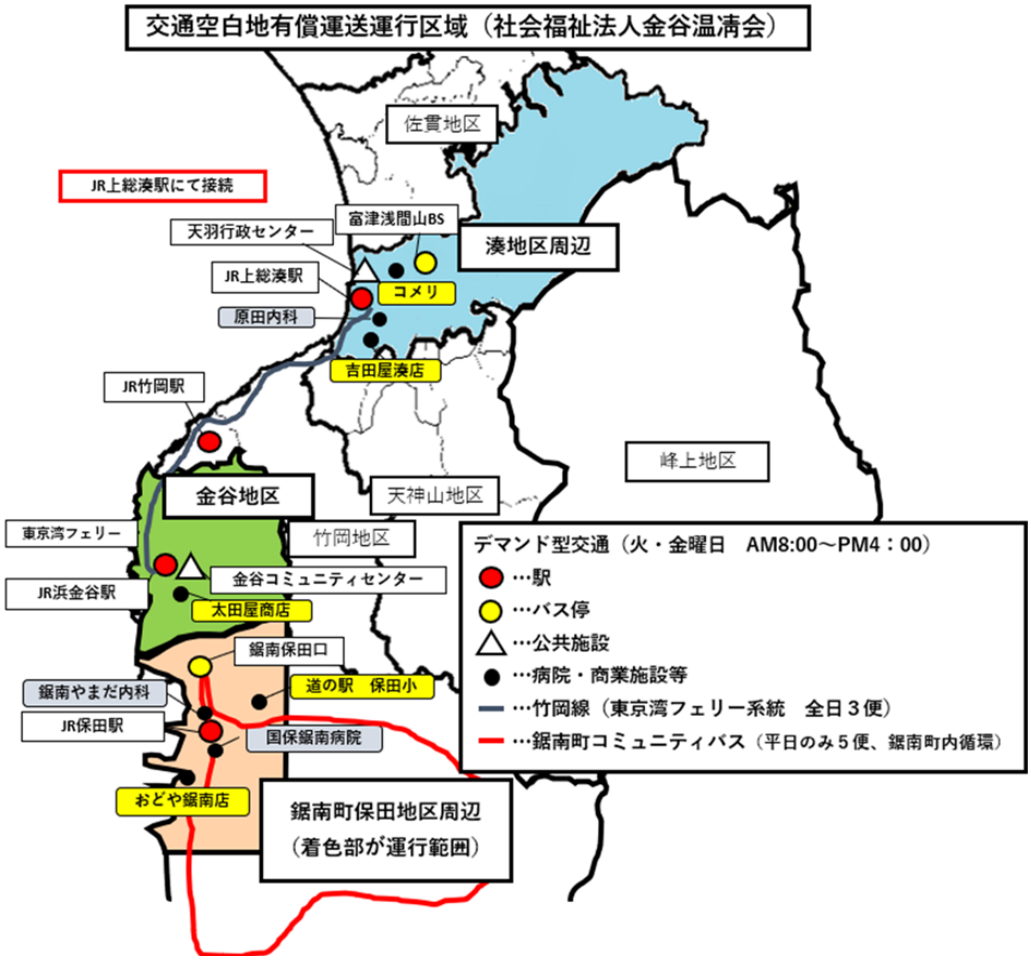
報告資料１

金谷地区交通空白地有償運送事業「きんこくタクシー」の運行状況について

社会福祉法人金谷温凊会が運営・運行主体となり、令和７年12月から実証運行を開始した金谷地区交通空白地有償運送事業「きんこくタクシー」について、令和８年４月末現在の運行状況の概要を報告する。

■運行の概要

実施主体	社会福祉法人金谷温凊会
運行の区域	富津市南部地域（金谷地区内・湊地区周辺）及び鋸南町北部地域（保田地区周辺）
利用対象者	会員登録をした金谷地区在住者及びその親族等
運賃（片道）	金谷地区内の移動は500円、湊地区への移動は1,200円、鋸南町保田地区への移動は700円 （複数人が乗車した場合は、乗車した全員に200円の割引適用）
運行日	週２日（平日の火曜日及び金曜日）
運行形態	デマンド（事前予約型）タクシー
運行開始日	令和７年12月19日（火）



■対象地域（金谷地区）の人口と利用登録状況

世帯数　594世帯　人口　1,075人（R8.3.31現在　住民基本台帳人口）

登録世帯数　50世帯　登録者数　72人（R8.4.30現在）

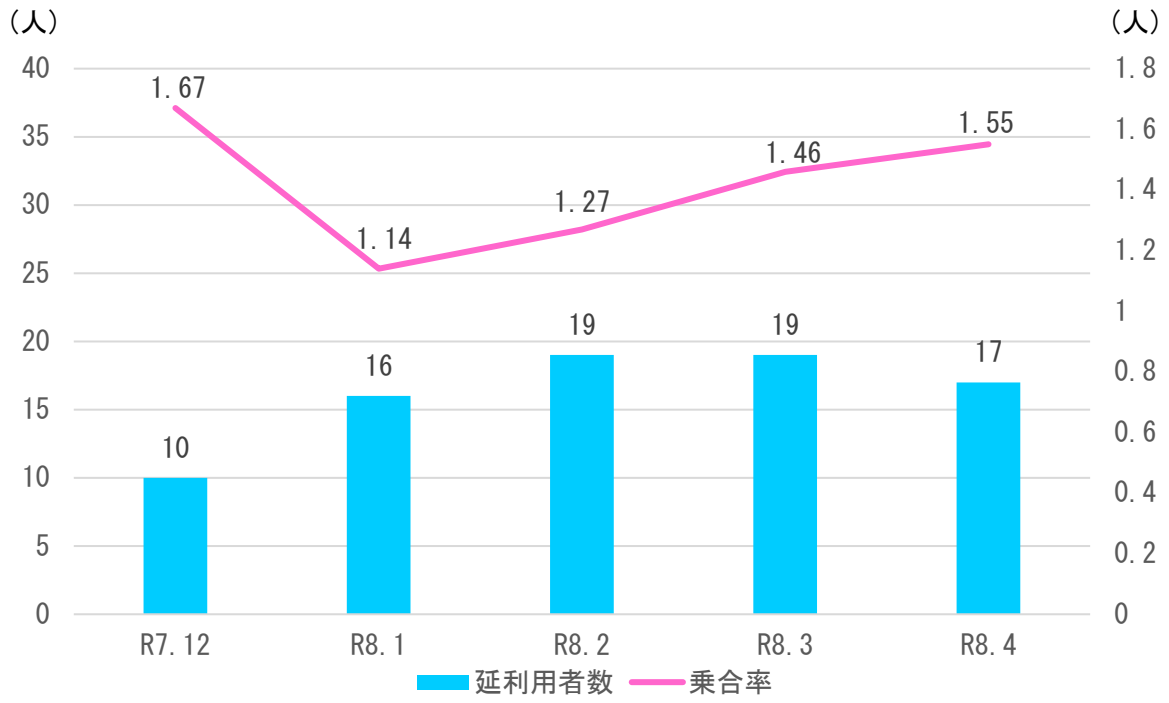
■運行実績（概要）　※R7.12.19 実証運行開始

月	運行予定日数	運行日数	運行回数	延利用者数	乗合率※	登録世帯数
R7.12	３日	２日	６回	10人	1.67人/便	51世帯
R8.1	８日	５日	14回	16人	1.14人/便	－２世帯
R8.2	８日	６日	15回	19人	1.27人/便	０世帯
R8.3	８日	６日	13回	19人	1.46人/便	１世帯
R8.4	８日	４日	11回	17人	1.55人/便	０世帯
計	35日	23日	59回	81人	1.37人/便	50世帯

※乗合率は、運行１回当たりの乗車人数の平均

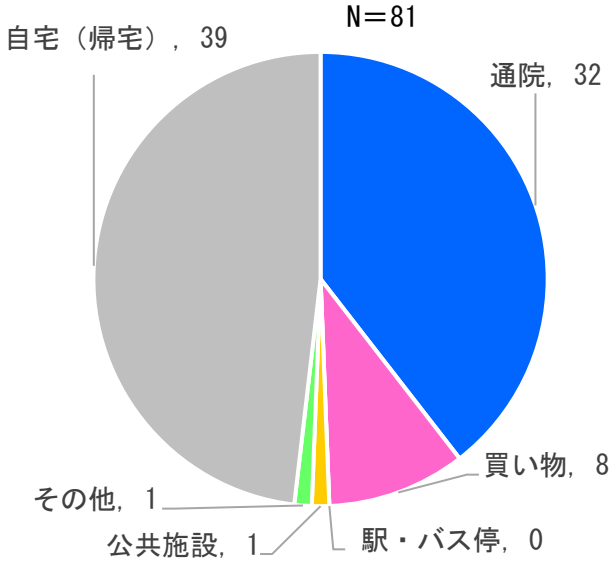
■月別延利用者数及び乗合率

延利用者は若干増加傾向にあるものの、利用者そのものが少ない状況にある。乗合率は、月による変動はあるが、期間平均で1.37人／便となっている。



■利用目的別

主な利用目的は、通院が４割、買い物が１割、自宅（帰宅）が５割となっている。



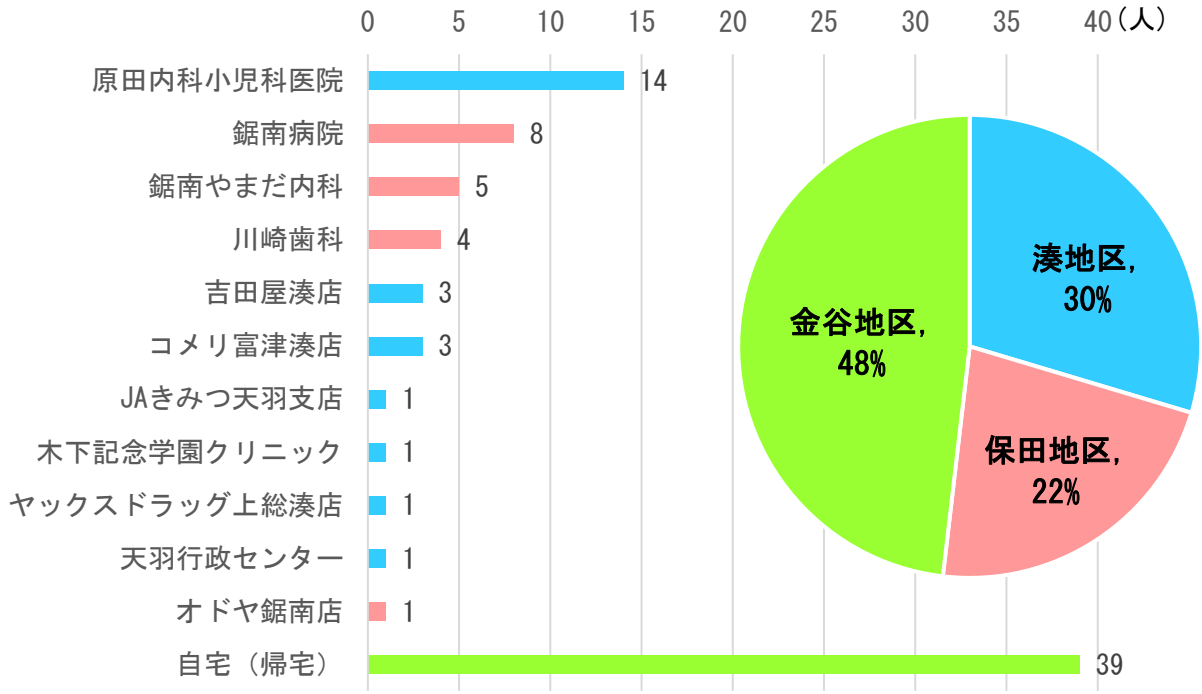
目的	延利用者数	割合
通院	32人	39.5%
買い物	８人	10.0%
駅・バス停	０人	0.0%
公共施設	１人	1.2%
その他	１人	1.2%
自宅（帰宅）	39人	48.1%
計	81人	100.0%

■行き先

行き先は、自宅（帰宅）が最も多いほか、原田内科小児科医院、鋸南病院、鋸南やまだ内科の順に多い。

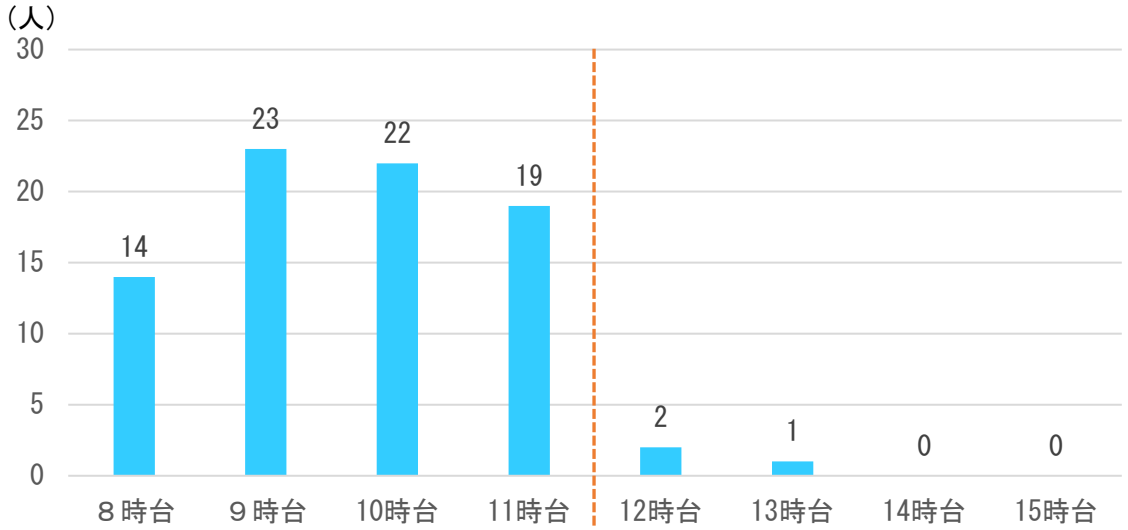
全体の３割が湊地区への移動、２割が保田地区への移動、５割が自宅への移動（帰宅）に利用されている。

※　この他、目的地が「自宅（帰宅）」の場合でも、13人が買い物に、１人が公共施設に、３人がその他の施設に、それぞれ立ち寄っている。



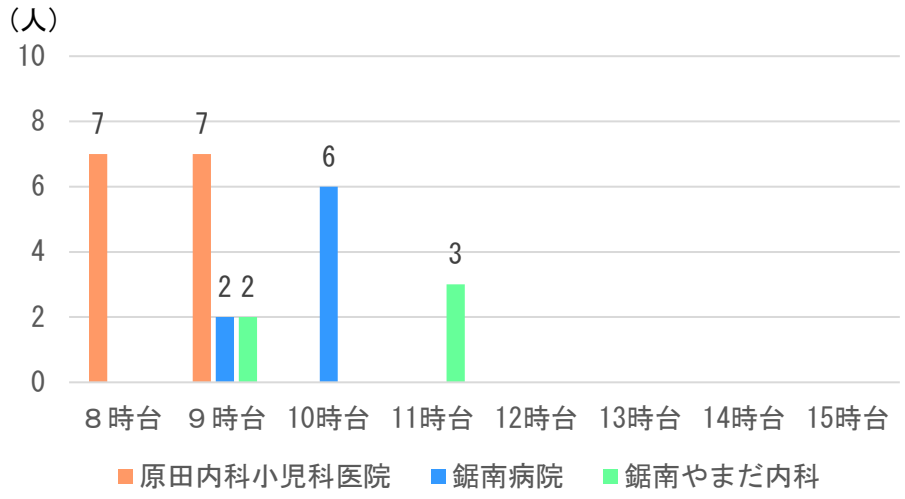
■利用時間帯別利用者数（全体）

利用時間帯別では、午前の利用が96.3%、午後の利用が3.7%となっており、圧倒的に利用が午前に集中している。14時以降の利用はない。



■利用時間帯別利用者数（利用の多い行き先）

自宅（帰宅）を除き、利用が多い行き先上位３か所に係る利用時間帯別の利用は、いずれも午前に集中しており、原田内科小児科医院は８時台又は９時台、鋸南病院は10時台、鋸南やまだ内科は11時台が、それぞれ最も利用が多い時間帯となっている。



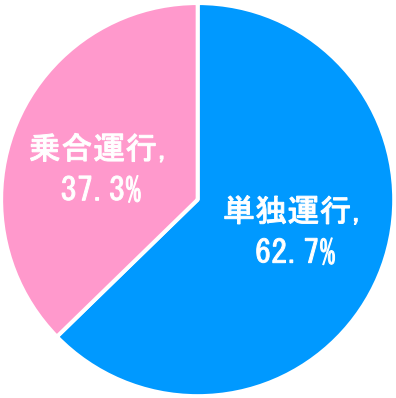
■往復利用

通院先、買い物先等の目的地への移動回数は42回、自宅（居所）への移動回数は39回となっており、往復利用率は92.9%となっている。その差（３件（7.1%））はJR内房線を利用して帰宅している。

■単独運行と乗合運行の別

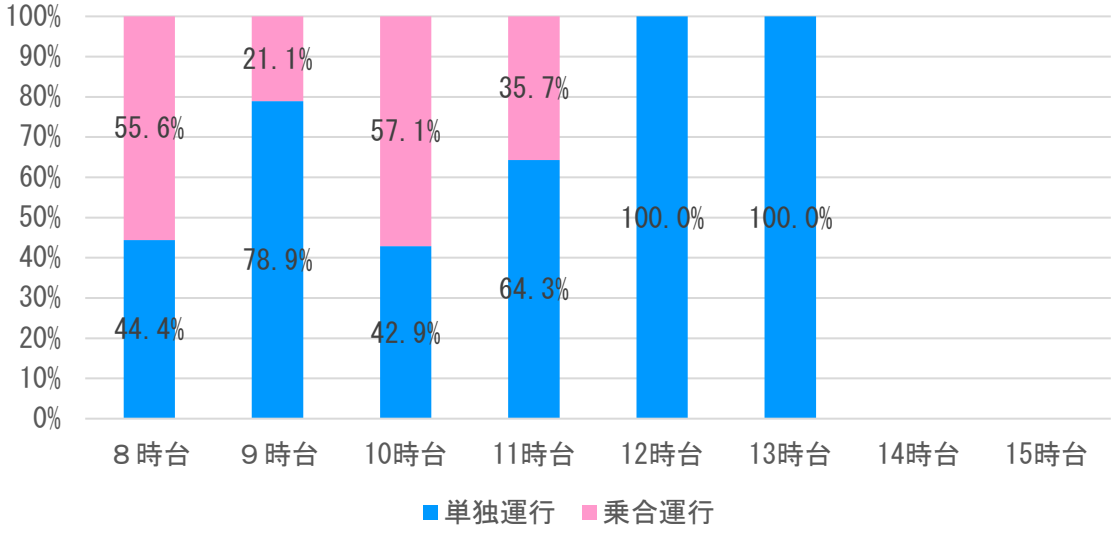
運行回数ベースでは、１人が乗車した単独運行は62.7%、２人以上が乗車した乗合運行が37.3%となっている。

	運行回数	割合
単独運行	37回	62.7%
乗合運行	22回	37.3%
計	59回	100.0%



■利用時間帯別の単独運行と乗合運行の割合

運行回数ベースで、時間帯別に単独運行と乗合運行の割合をみると、８時台及び10時台において、乗合運行の割合が高くなっている。



■今後の取組の方向性

実証運行開始から４月末までで４か月強が経過し、運行１回当たりの乗車人数は実証運行開始から４月末までの平均で1.37人であるものの、利用登録世帯数は50、延利用者数は81人と伸び悩んでいる状況にある。これは、地区の人口が元々少ないという事情もあるが、今後更に利用登録世帯及び利用者の裾野を広げるため、地区における回覧等の周知広報活動を継続的に行うなどのほか、必要に応じ、実証運行計画の内容を見直すとともに、引き続き、利用動向の分析と課題整理を行い、市、地域及び運営・運行主体が連携しながら、本格運行への移行に向けて取り組んでいく。